

早稲田大学インクルーシブ教育学会 ニュースレター

2018年（平成30年度）・NO.2

第1回 研修会

「実践研究の進め方研修会」

早稲田大学教授 本田恵子先生

2018年6月17日（日）

早稲田大学 14号館 716教室

実践研究を始めようとしている方が集まったこの研修会は、実践研究の進め方の基礎を理解したうえで、各自が取り組もうとしている研究をデザインしました。

参加者 午前 28人（うち学生1人）

午後 19人（うち学生1人）

9月24日には実践研究の計画や取り組みを報告し合う交流会を開催します。実践を形にして発信してみませんか



「実践研究の進め方」 講師：本田恵子先生

午前中の前半は、本田恵子先生による実践研究の目的や方法などの基本的な実践研究の進め方について講義、後半は、研究者による実践研究の事例発表がありました。

午後は、参加者一人一人が、ワークシートに沿って整理することを通して、実践研究の計画立案に取り組みました。

実践研究の理解と方法 ～講義より～

心理学研究における実践研究の目的は、「現実生活に関与することによって、介入の実践的有効性を高めるため」であり、その内容は、「対象のある要素に対し、一定期間ある介入を行った結果、ある要素に生じる変化（効果）を質的・量的に測定し、その変化（効果）の要因を考察する」というもので、この研究に取り組むことで、学校・家庭などの目の前の子どもたちに役立つ良さがあるとのことでした。

研究で大切なのは、対象を適切に選ぶことと、効果測定の妥当性とデータの信頼性で、それには①対象（誰・何について）②方法（何を行うことで）③結果（どういふ効果を調べたいのか）の検討に時間を掛けて丁寧に行うことだという秘訣を教示していただきました。

対象の選び方、データ収集のあり方、結果の整理と分析について詳しく学んだ後、実践研究を二事例視聴しました。研究の実際に触れ、参加者は、テーマの選び方やデータ収集の方法など、講義内容をより現実感を持って理解できました。

実践研究の計画立案 ワークショップ

参加者が取り組もうとしている実践について、「テーマ選び」と、「デザイン」という二つのワークを通して整理しました。本田先生や午前中に研究事例を紹介して下さった先生方による参加者一人一人に対するSVや、グループ内での意見交換を行いながら進めました。参加者は測定方法の知識を得たり、現場の身近な課題がテーマになることで取り組みやすさを感じたりと、実践研究の魅力を実感していました。

感想 ～アンケートより～

- ・参加してよかった。知らないことを曖昧にしていると感じた。
- ・難しかった。もう少し勉強したい。
- ・今年度の自分のテーマ「やりたいこと、取り組み」がはっきりした。本田先生のアドバイス、とてもストンと落ちた。
- ・研究の進め方が分かり、自身が行おうとしている研究がどこにあたるのか分かった。